

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 子どもがのびのび心豊かに育つまち

施策番号・名 12 活力ある学校づくり

基本事業番号・名 12-07 保護者の負担軽減

事務事業番号	所管課係名		事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)					
	事務事業名	対象		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)			
12-07-01	学務課 学事係	対象	就学困難な児童・生徒に係る就学奨励について国の援助に関する法律及び施行令に基づき経済的理由で就学が困難と認められる児童・生徒の保護者	平成21年度	8,709 (人)	平成21年度	1,117 (人)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	90,394	平成21年度	6,777	平成21年度	97,171	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	就学援助事業	手段	年2回広報紙の掲載するとともに各小・中学校児童・生徒に「保護者へのお知らせ」を配布して就学援助への周知を図っている。4月に1週間申請を行い、6月下旬に認定通知を発送。	平成20年度	8,735 (人)	平成20年度	1,077 (人)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	83,956	平成20年度	6,641	平成20年度	90,597	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 学務課 稲葉勝之	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	経済的負担を感じず就学義務を果たせる。	平成19年度	8,693 (人)	平成19年度	1,166 (人)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	89,673	平成19年度	6,641	平成19年度	96,314	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	22年度以降も現状を維持したい。		
12-07-02	学務課 保健給食係	対象	全市立小・中学校児童・生徒	平成21年度	8,801 (人)	平成21年度	1,192 (人)	平成21年度	14 (人)	平成21年度	8,136	平成21年度	1,010	平成21年度	9,146	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	日本スポーツ振興センター保険加入事業	手段	市立小・中学校の管理下における児童・生徒の学校管理化での災害に対し、日本スポーツ振興センターに請求の申請をし、児童・生徒の保護者に対し、災害共済給付を行う。	平成20年度	8,820 (人)	平成20年度	1,213 (人)	平成20年度	13 (人)	平成20年度	8,158	平成20年度	999	平成20年度	9,157	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 学務課 稲葉勝之	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	安心して学校生活を送れる	平成19年度	8,772 (人)	平成19年度	1,146 (人)	平成19年度	13 (人)	平成19年度	8,131	平成19年度	986	平成19年度	9,117	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	22年度以降も現状を維持したい。		